



広島が生んだ守護神

ばばだぼり
Jリーグ広島



久原 大輝

ファン感謝デーの開催まで残り1時間
間を切った時、井上航選手はお世辞に
もきれいとはいえない文字を、ひたす
らにノートへ書いていた。

入団してから瞬く間に、チームの看
板選手へと成長。決して口数が多くは
ないが、プレーで周囲を納得させてき
た。「気がつけばそこにいる」。彼の

代名詞にもなったこのフレーズの通
り、「決められた」と誰もが思ったス
パイクを、いとも簡単に上げてきた。

現役最後の大会となった5月の黒鷲
旗全日本男女選抜大会。彼はメインリ
ベロとして出場。時が止まるような質
の良いレセプションを供給し続け、味
方が得点を取った時は誰よりも喜びチ
ームを鼓舞する。航選手にとって普通
にこなしているこの振る舞いが、これ
までに、どれだけ多くの選手やファン
を勇気づけてきただろう。

話は戻り、ノートへ書いていた文字
は、退団セレモニーでのあいさつだっ
た。彼らしく飾り気のないファ
ンの皆さまへの、最後のメッセ
ージに心を打たれた。

誰よりも広島を愛し、誰より
もチームを愛してくれた航選手
の第二の人生も、彼が胴上げさ
れたときのように、高くはばた
いてほしい。

ありがとう、井上航。



航選手。この笑顔をずっと忘れない(2日)

(Jリーグ広島マネジャー)